



トライアル

令和元年 9月24日(火)
四季が丘小学校 研究推進便り

9/13(金)に関西福祉大学の加藤明学長, 広島県教育委員会義務教育指導課の玉木昌知指導主事, 広島県西部教育事務所の中塩曜子主任指導主事, 廿日市市教育委員会の福島千恵子指導主事をお迎えし, 四季が丘中学校区合同研究会兼学力フォローアップ校事業第2回授業研究会が行われました。

第5学年の国語科「物語のおもしろさを解説しよう」そして, 第4学年の体育科「ソフトバレーボール」の授業を提案しました。

どちらも学びや心をつなぐという視点と支援の必要な児童に対する手立ての工夫がちりばめられた授業でした。今回の研修を受けて, 第1回授業研究会で確認した内容と今後に向けた方向性について以下のようにまとめました。さらなる共通理解を図り, 日々の授業改善につないでいきたいと思えます。



第1回授業研究会での確認事項	第2回授業研究会での成果と課題	今後に向けて
<p>1 つまずきの要因分析について</p> <p>○何ができて何ができていないのか, どんなことに興味があるのか, 学び方の特徴を捉える。</p> <p>○学びの系統性に基づいた分析を行う…3・4年, 1・2年の指導事項までさかのぼって学びを見取る。</p>	<p>1 つまずきの要因分析について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科におけるつまずきから見える手立てや支援をさらに具体的に明記していくことが大切である。 ・どのように語彙を伸ばしたり語感を磨いたりしていくのかという分析を明記していくことが大切である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の指導計画には, 対象児童を多面的に見取った記述を行う(学習・生活・行事・保護者連携等)。 ・学習指導案は, 教科に特化する。(様式を一部変更する予定) ・学習指導要領解説をヒントに要因分析を考えていく。
<p>2 実態把握について</p> <p>○複数の目で, さまざまな視点で行う。</p> <p>△各学級の対象児童の実態を共有する。</p>	<p>2 実態把握について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担任, 通級担当, FU教員, 研究推進教員が密に連携をとることができたが, 記録に残すことが十分にできていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・担任, 通級担当, FU教員, 研究推進教員がFU対象児童への気づきを確実にファイルに残す(メモ程度でOK)。
<p>3 具体的な手立てについて</p> <p>○「何のために」を明記する。</p> <p>○～ができるよう・・・する, ...させるという具体を明記する。</p>	<p>3 具体的な手立てについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICTや思考ツール等, 様々な手立てを取り入れ, イメージしやすくしたり, 考えの手がかりをつかみやすくしたりすることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・手立てや声かけは成果のあったものもそうでなかったものもできれば代案を添えて残す。 ・ねらいに応じた手立てをしぼりこんでいく。
<p>4 指導事項について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導事項はアではなくウ(精査・解釈)ではないか。 	<p>4 指導事項について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・深い教材研究・教材解釈があつてこそその授業であった。 ・指導事項はオの考えの形成である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項はつまずきの要因分析とのつながりを考えて設定する。



児童に身につけさせたい力がつくように 児童が自らできるようになる支援を

「授業改善に向かう振り返りカード」より

- ・素晴らしい授業を提案してくださりありがとうございました。
単元1つを1冊のノートで行ったり、クラゲチャートを使ったり、初めて見る
ことばかりでとても勉強になりました。小田先生の工夫や手立てを自分のもの
にしていきたいです。
- ・児童が主体的で対話的で深い学びになるような工夫がたくさん見られてよかっ
たです。注文の多い料理店ノート、個人学習・グループ学習等の学習形態の工夫、
思考ツール、キーワードで思考を整理しながらつないだり深めたりすること…とても
よかったです。感動！自分の考えと比較し思考と整理しながら最終的には自分との対話
によるメタ認知力で小田先生のように学力をつけたいと思いました。
- ・大変勉強になりました。根拠を問うことは、中学校でも繰り返しているので小中の一貫性が確認できてよかったです。ありがとうございました。



今回の授業研究会にあたり、小田薫先生の教材研究の深さを感じることができました。また、FU校事業としての今後の研究につながる、「つまずきの要因から指導事項を決定し焦点化すること」を示してくださいました。日頃の教材研究の大切さについて再認識することができました。

- ・明るく児童の心をつかんでいますね。児童が自分の担任を自慢に思っているのが伝わってきます。よい授業をありがとうございました。
- ・授業をしていただきありがとうございました。授業前の運動から「仲良く」の雰囲気がありました。四季小の児童はソーシャルスキルをしていることもあり、協調性が高いなあと日々感じております。毎時間ポスターサイズで振り返りをされているのかと感心しました。先生の楽しそうな表情が児童にも伝わっているようで、とても楽しそうな授業だと思いました。
- ・お忙しい中、ありがとうございました。まず学級の雰囲気が梶山先生の姿そのものだと感じました。だからこそ落ち着いて、一生懸命、頑張ることができる児童がたくさんいたと思います。児童のよい所をさらにのばしていかなければいけないなと改めて感じさせられました。



今回の授業研究会では、梶山先生に新しい体育の授業のあり方についてチャレンジし、提案していただきました。タブレットで撮影した自分たちの動きの映像をもとにグループで話し合う姿は見事でした。日頃の学級経営に基づき、体育科と他教科を関連付けることにより、子どもたちに深い学びを促すことができていました。

お知らせ

・9/26(木)の15:30から校内研修(全国学テの結果分析)を行います。
学力向上につなぐ指導の視点や資質・能力について協議します。

- ・10/25(金)は、FU校事業第3回授業研究会です。4-1で算数科「面積」の授業を提案します。指導案や個別の指導計画の検討、模擬授業等計画的に行っていきます。
- ・先日、特別支援教育士の山田先生主催のUD研修に西本先生がビデオで授業を提案し、廿日市市内の先生方で学びを深めることができました。自主的に研修会に参加する姿が素晴らしいですね!
- ・体育実技支援ソフトのパンフレットを回覧します。昨年度の3月に授業を提案した平野学級の子どもたちの素敵な写真が掲載されています。よいものができたと鈴木先生が喜んでおられました。体育の授業にICTをしっかり活用していきましょう。

